

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア王国
2. 案件名	地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり
3. 事業の背景と必要性	カンボジア地雷対策センター（CMAC）は長年にわたり過去の戦争や紛争により埋設された地雷や不発弾の除去活動を行い、地域住民に安全な土地を取り戻している。CMACはカンボジア内外に地雷除去活動を通して平和の大切さを伝える博物館を設立しているが、学芸業務のノウハウを知る職員がおらずメッセージが伝わりにくい施設となっている。CMAC から沖縄県平和祈念資料館のような平和を希求する心を伝える「平和博物館」にしたいというニーズがあり、過去にカンボジアのトゥール・スレン虐殺博物館で職員の人材育成を経験した沖縄県が博物館を運営する職員に学芸業務のノウハウを伝える事業を実施する。
4. プロジェクト目標	施設の設置理念に基づく魅力的な展示を備える平和博物館として地雷対策平和博物館（PMMA）を運営する専門職員が育成される。
5. 対象地域	カンボジア王国 プノンペン、シェムリアップ
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	カンボジア地雷対策センター（CMAC）の地雷対策平和博物館(PMMA)職員 地雷対策平和博物館 来館者
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <p>1. 「平和博物館」の設置理念が策定され、理念の浸透に向けた博物館活動の内外への発信が行われる。</p> <p>2. 博物館の資料収集・調査研究のノウハウを習得した PMMA スタッフが育成される。</p> <p>3. PMMA の設置理念に基づいた魅力的な展示が作成される。</p> <p>4. カンボジア・沖縄において PMMA の知見を活かした平和啓発事業が実施される。</p> <p><活動></p> <p>1-1. 「平和博物館」の考え方や博物館の設置理念の策定方法について研修する。</p> <p>2-1. 各資料（一次資料、二次資料）の学術的な意味づけ（歴史的資料・平和文化創造の資料としての位置づけ）について研修する。</p> <p>3-1. 証言展示等を含む魅力的でわかりやすい展示を作成するノウハウ（展示構成、展示資料リスト、平面図等）の基本的な考え方について研修する。</p> <p>4-1. PMMA を題材とした平和教育資料を作成する。</p>
8. 実施期間	（西暦）2023年10月～2026年1月（2年5ヵ月）
9. 事業費概算額	35,000千円
10. 相手国側実施機関 (カウンターパート)	カンボジア地雷対策センター（CMAC）の地雷対策平和博物館(PMMA)職員
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	提案団体：沖縄県（主管：子ども生活福祉部女性力・平和推進課） 指定団体：特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター
2. 活動内容	平和行政に関する施策の総合的企画、調整及び推進に関すること。 男女共同参画社会の実現に関する施策の総合的企画、調整及び推進に関すること。